

# 大阪の中小ネットワーク「OWO」

## 岐阜に営業拠点設置

### 航空機部品受注へ体制整備

大阪の中小企業が共同で、米ボーイングを含む大手から航空機部品受注を目指すプロジェクトが本格的に動きだす。次世代型航空機部品供給ネットワーク(OWO)の統括会社オー・ワイ・コープ(大阪市西区)の由良豊一社長は、3月4日に大阪市内で開くOWO会合で出資者を募るとともに、航空機産業が集積する岐阜県各務原市に春をめどに営業拠点を設ける考えを明らかにした。出資者を増やすことで生産可能な部品の種類を広げ、川崎重工や三菱重工などへ提案営業を行っていく方針だ。

### 連携の強み生かす

中小が共同で航空機部品受注を目指すとの考え方は夢があり理解しやすいが、実現には企業同士の利害衝突や資金分担保などハードルも多い。そのあたりをどう工夫するのか。由良豊一オー・ワイ・コープ社長に聞いた。(大阪・安藤光恵)

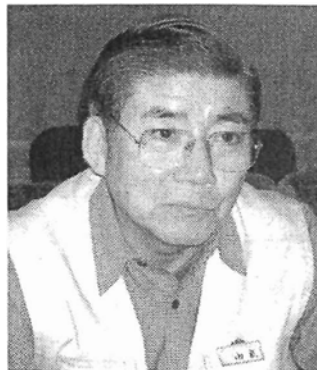
### 利益分配へ信頼関係構築を

「日常的に生産の効率化を求められている中小企業が連携することで、短納期を実現する。航空機部品の技術レベルは確かに高いが、納期となる」と半年や1年近くかかっている時に対応する例がある。汎用製品と違い、航空機関係はロットが小さいので大手は機械が空いているものが多分にある。汎用製品と違い、航空機関係はロットが小さいので大手は機械が空いている時に対応する例がある。

「中国やインドをはじめとするアジア諸国などでの人口増加と経済成長で世界的な人の移動が増え、旅客機や航空機部品の需要は今後ますます高まる。市場自体が成長するのだからわれわれの取り組みも既存の航空機部品メーカーと競合するのではなく、新たに生まれる市場を獲得するという認識だ」

OWOの会員企業は約30社。オー・ワイ・コープはその中の由良産商、田中、三陽鉄工、中川鉄工、エスディーシーの5社が共同出資して、資本

「オー・ワイ・コープ社長に聞く」  
由良 豊一氏



多く、結果的に長納期になる。対してわれわれは『きょう午後までにくら』のような時間ビジネスで勝負している。在庫管理でも同様。このノウハウを生かす」  
― 運営の課題は。 ―  
「すべての参加企業

## 愛知県 県内4大学と協定 光研究施設の運営で連携

備、運営を進める。同施設は愛知県が2010年に開設予定の科学技術研究拠点「知の拠点」内に整備する。非常設規模は周長62・4メートル、最大24本のビームラインを設置可能。総投資額は約70億円を見込む。完成後は地域の会員企業同士がビジネスパートナーを探す場となる。また3回目となる国際総合見本市「メッセナゴヤ2008」を9月に開催するほか、名古屋市などとの共同による「名古屋

経営革新計画承認 愛知県：82件  
愛知県は中小企業新事業活動促進法に基づき、07年10～12月に82件の経営革新計画を承認した。承認企業39社とそのテーマは次の通り(非公表希望企業を除く)。  
▽NAJAPAN(名古屋市天白区) ㈱デジタールパームの新商品開発  
▽吉良屋建材(碧南市) ㈱内装工事業者の低コストアスベスト対策手法・工法導入  
▽ソナタ(安城市) ㈱セミナー研修会場開設による新たな不動産管理運営事業の確立  
▽協栄粘土製造(碧南市) ㈱瓦原料の配合粘土開発  
▽アイ・アンド・ティ(江南市) ㈱新商品の電動吸着ユニットの開発・生産・販売  
▽エリイア(愛西市) ㈱20度Cの冷凍庫と移動ラックの設置  
▽東利(名古屋市中村区) ㈱下水本管内からの下水取付管の閉塞(へいそく)可能な装置開発  
▽導入Vコンセルヴェ(尾張旭市) ㈱オーガニックコットンの新製品開発と海外への販路拡大  
▽秋葉商事(名古屋市中区) ㈱自社ブランド総菜の新商品開発  
▽入江金型工業所(安城市) ㈱高性能設備導入による製品高品質化